

長崎だより

長崎の情報を
お届けします

FPG調査月報の姉妹誌「ながさき経済」を発刊している、ふくおかフィナンシャルグループの長崎経済研究所。長崎の旬な情報を提供するコーナー「長崎だより」の今月号は、のんびり山 代表 森山 誠様より『知らなかった山暮らし』と題し寄稿していただきました。

長崎経済研究所による「ながさき経済web」随時更新中!



当研究所が発信する最新の情報をメールでお届けします。

メールマガジンの登録はこちら▶



お問い合わせ

株式会社長崎経済研究所

長崎市銅座町1番11号
十八親和銀行本店内
TEL095-828-8859



ながさき経済web画面

長崎経済研究所とは

長崎県の経済・社会・産業動向などに関する調査研究及び企業経営や県民の生活のお役に立つ情報をご提供するとともに、各種経済・文化団体の事務局活動等を通じて、地域社会に貢献することを目指しております。



知らなかった山暮らし

のんびり山 代表 森山 誠

はじめに

のんびり山代表の森山です。

ブルーベリー、生姜、マイヤーレモンを小長井町と佐賀県太良町で農業を使用せずに栽培しています。

2017年4月に新規就農して農家になりました。

2018年から妻も仕事を辞めて運営に加わり、小長井町にブルーベリー摘みとりの観光農園をオープン。ブルーベリーの摘みとり園と直販が経営の軸となっています。

山暮らしに触れる

私は長崎市出身で思案橋まで歩いていけるアパートで育ちました。

音楽家を目指して20歳のときに上京して、様々な職を経験しながら音楽活動に励んでいました。2枚のCDをリリースした後に方向性に迷いが生じ、活動休止。その頃に妻の夏美さんと出会い、2008年に結婚しました。夏美さんは長野県の標

高1200mにある原村という八ヶ岳の麓の出身で、実家はペンションを経営する6人兄弟の長女。

長崎の街と東京の街の暮らししか知らなかった私は夏美さんの実家を訪れ、山間部での暮らしに初めて触れたときに、「こんな暮らしがあったんだ」と自分が経験してきた暮らしとは全く異なることに不思議な気持ちになったことを覚えています。夜になると薪ストーブを焚いて皆で暖をとり、白い息を吐きながら満天の星空を眺める。とても静かで空気と水が冷たくて美味しい。私が知っているネオンが光る街の暮らしとは全く異なった家族の時間がそこには流れていました。

移住を決意

音楽活動を休止してからの東京暮らしは様々なサービス業を経験し、最後はBARの店長をしながら音楽イベントを企画、主催する日々でした。魅力ある友人達に囲まれて

充実していましたが、慌ただしく流されていくような日々疑問を覚えていくようになっていました。一度きりの人生だったら、もっと自然に囲まれて、自分の時間を大切にできる暮らしをしたい！と考えが膨らんできた頃、2011年東日本大震災がおきました。あまりにも大きすぎた出来事に背中を押されるように暮らしを変えるべく移住を決意しました。まずは地元の長崎市にUターンし、農業のアルバイトなどして暮ら



Profile

のんびり山 代表 森山 誠

- 1978年 長崎県長崎市生まれ
- 1998年 音楽家を目指し上京
- 2012年 長崎市にUターン
- 2014年 佐賀県太良町の山間部に移住、ホテルの立ち上げを経験
- 2017年 新規就農
- 2018年 ブルーベリー摘みとり園ののんびり山を開業
- 2020年 山の中のゲストハウスオープン



のんびり山改装前



のんびり山店舗



ブルーベリー農園との出会い

しながら山間部の空き家を探していました。2年が過ぎた頃に友人の紹介で佐賀県太良町の山間部の空き家を紹介してもらい、2014年から念願の山間部での暮らしが始まることになりました。この時期は縁あって嬉野温泉の新ホテル立ち上げのチーフとして、妻は保育園に常駐する看護師として勤めていました。

山に暮らしながら、山を降りて仕

事に向かう。

念願の山暮らしが始まったはずが、ホテル立ち上げの仕事が忙しく、時間も不規則だったために家にいる時間が削られていました。古い空き家はメンテナンスが必要で、手をかけないと快適ではなく、冬は寒いし、梅雨時期にはカビが生えるので最悪です。思い描いていた暮らしはこんな暮らしではないと悩んだりもしていました。

そんな時に農業のアルバイトをしていた頃の知り合いから連絡がき

ます。

「ブルーベリーの栽培に興味ない？ 小長井町の知り合いが引き継ぎ手を探してるんだけど。」

山で仕事をしながら山で暮らしていきたいと考えていた私は直ぐに農園を見に行きました。

1200坪ほどのブルーベリー農園の規模に圧倒されましたが、生で食べるブルーベリーの味に感動したこともあって、大家さんを紹介してもらって10分後には「私がやります」と握手をしていました。

農家になると決意した日です。

翌日には会社で辞意を伝えてその半年後に退社しました。

決断してから色々と描いていたことが現実的になっていき、農園の近くにあった古い空き家を借りて改装し、ブルーベリー摘みとカフェを合わせた山間部でも成り立つビジネスプランを組み立てていきました。

役場の農林水産課にも協力してもらって描いていることを徐々に現実に行きま

○長崎県内にカフェを併設した観光農園が少ない。

○九州内にはブルーベリー農家が少ないため採れたてのブルーベリーを食べたことがある人が少ない。

○携帯のナビが発達しているので車で移動できる場所で駐車場があれば集客はできる。

○一年に一度の期間限定のイベントなので年々アップデートできる…など

のんびり山は市場出荷をメインとする農家ではなく、摘みとり園と個人配送が中心。自分たちの強みや弱みを洗い出してブランディングをすることが必要になります。顧客のターゲット設定を細かく考えてECサイトの選定やカフェのメニューや店内のレイアウトなどを変えていく。また、ブルーベリーのオフシーズンには生姜とレモンを栽培していて、各地のマルシェや展示会に出店して



います。出店は労力を使いますが、新たな出会いや発想をもたらしてくれるので、インプットが少ない山の暮らしには貴重な機会と捉えています。これからの小規模農家は優れた生産者であること、優れた経営者であることが重要なポイントになるので、栽培技術もマーケティング手法も並行して学んでいく必要があると考えています。

クラウドファンディングに挑戦

農業経営セミナーに参加したことがキッカケとなり農園内の設備を整える資金集めにクラウドファンディングを行い、117名の方から目標金額を大幅に超える70万円以上の支援をいただくことができました。目標金額を超えられたのは、複数のクラウドファンディングの経験者に話を聞いたのが大きかったと思います。様々なアドバイスにより、細かなターゲット設定と目的が明確に出来ました。

クラウドファンディングはただの資金集めではなく、新製品の市場調査やプロモーションにも利用できる媒体なので、使い方によっては非常に効果的だと思います。その一方で、しっかり準備が出来ていないと目標達成は難しいというデータも出ています。今後は経験者として新規利用者の相談にのっていきたいと思います。他のプロジェクトなどの分析から見えることも沢山あつて良い経験になりました。

のんびり山の今後

山間部は過疎化していて年々空き家が増えています。人が住まなくなった空き家は朽ちるのが早く、そのままにしておく防災の観点からしても良くありません。また、山間部に人が住まなくなると道の草刈りなどが出来なくなり、どんどん荒れていきます。山間部で暮らす人が増えれば、山の景観や耕作放棄地などの問題が改善されていくと思





ブルーベリー



マイヤーレモン



シュガーフリーブルーベリージャム



レモンジャム



います。山で暮らして、草刈りなど慣れるまでは大変でしたが、色々整ってくるにつれて、快適で年々心地良くなっています。水と空気が綺麗で、窓から見える景色や虫の声は季節によって変化していきます。薪ストーブを焚きながら雪を眺めていると自然と共に生きていることを実感できます。

街暮らしとも田舎暮らしとも違う山暮らし。そのキッカケの一つになればと思い、空き家を改装したゲストハウスをオープンしました。

山から眺める景色や、夜の静けさなど、暮らすように泊まることで、体験してもらえたらと考えています。この空き家の情報は農園に訪れてくれたお客さんから教えてもらいました。農園に人が訪れることによって地域の情報が共有されて、新たな発展に結びついていくことを実感しています。

就農当初は1200坪だった農地を4000坪ほどに拡大しました。栽培しているブルーベリー、



生姜、レモンの品質をあげること、
新たな品種、加工品やギフトセット
などを作っていきます。

インスタグラムなどで海外の農園
の情報を集めたり、気になる農園と
はコンタクトをとったり、積極的に農
業研修に参加したりしてインプット
を忘れないこと。経営だけではなく
接木などの栽培技術を磨いて、20年
後にそれが財産になるように日々積



み重ねていきたいと考えています。
摘みとり園は毎年来てくれるお客さ
ん達も新鮮な気持ちで楽しんでも
らえるように毎年アップデートさせ
ていきます。家族経営でやれるとこ
までやろうが今の目標です。

最後に

移住希望者や農業に興味がある
方々に一つの例として山間部での暮
らし方と働き方を伝えていきたいな
と思っています。

私が原村に初めて訪れてから実際
に山間部で暮らし出すまでに約10年
の月日が経ちました。きっと人生には
タイミングがあるのだと思います。
のんびり山が育んでいく山間部で
の暮らし方が、岐路にたった誰かの
背中を押せば幸せだなと、そんな
ことを考えながら日々、森の農園で
作業しています。

何かと忙しい毎日でも自分たちの
理念である「日々の暮らしを楽しむ」
を大事に、良い顔して暮らしていき
たいです。



▶のんびり山について

HP ▶<https://www.nonbiriya.com/>
instagram ▶<https://www.instagram.com/nonbiriya/>
Facebook ▶<https://www.facebook.com/nonbiriya/>
X ▶https://x.com/nonbiriya_jp/

HP



instagram



Facebook



X

